

低炭素社会において 企業経営をどう変えるべきか？

- 「事業所単位」から「事業者単位」へ
 - ⇒ エネルギー使用量・CO₂排出量が**経営指標**に
 - ⇒ 売上・利益と同格の取り扱い(連結ベース)
- エネルギーデータの経営指標化とは？
 - ⇒ ROE(注1)・ROA(注2)と同様に、「**ROC(注3)**」を重視
 - ⇒ 同業他社とのカーボン排出量での比較
- 真の環境経営企業像がどう変わるか？
 - ⇒ 経営トップがCO₂排出量削減にコミットメント
 - ⇒ 「環境にやさしい企業」の**定量的評価**
- 規制強化の受け止め方で決まる企業力
 - ⇒ 義務としての捉え方(受身的対応)
 - ⇒ 企業力アップの好機という捉え方(**能動的対応**)
 - ⇒ **カーボンリスク**という認識と対応が必須

注1: ROE (Return on Equity) ・株主資本利益率

注2: ROA (Return on Assets) ・総資産利益率

注3: ROC (Return on Carbon) ・カーボン排出あたりの利益率